

12月4日～10日は人権週間 考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心 みんなで築こう 人権の世紀



人KEN まもる君
人KEN あゆみちゃん
人権イメージキャラクター

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」とうたった世界人権宣言は、基本的人権と自由を尊重し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々が達成すべき共通の基準として、昭和23年(1948年)12月10日の国連総会で採択されました。今年で62周年を迎えます。人権は、人が人として生きていくために守られなければならない基本的な権利です。自分がかけがえのない存在であるように、他人もかけがえのない存在です。

12月4日～10日は人権週間。この機会に、人権について考えてみましょう。

【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505へ。

夜間人権ホットライン

●区主催

☎(5273)3648

【日時】12月7日(火)午後5時30分～7時(相談は1人15分程度)

【問合せ】総務課総務係へ。

●東京都人権啓発センター主催

☎(5824)0841

☎(5824)0842

【日時】12月6日(月)午後5時～8時(相談は1人10分程度)

【問合せ】同センター ☎(3871)0212へ。

人権に関する相談をお受けしています

人権擁護委員は法務大臣から委嘱された民間の方で、区には現在12名の委員がいます。

毎月第1・第3金曜日の午後(1月の第1週を除く)、区役所第1分庁舎2階で実施している「人権・身の上相談」や、子どもの人権啓発等の活動を行っています。

●区の人権擁護委員(敬称略・50音順)

飯島泰文、井上美那子、岩佐直徑、加藤茂行、金井重彦、木澤克之、甲野恵美、佐野榮三郎、中村廣子、野尻信江、山口幸子、若林康子

【問合せ】総務課総務係へ。

人権啓発パネル展

【日時】12月2日(木)～10日(金)午前8時30分～午後5時(4日(土)・5日(日)を除く。7日(火)は午後7時まで、10日(金)は午後4時まで)

【会場】区役所本庁舎1階ロビー

【内容】人権啓発パネル・子どもたちの人権メッセージ・子どもたちが育てた人権の花の報告パネル等の展示

【問合せ】総務課総務係へ。

東京都等主催行事

●トーク&コンサートと映画の集い

【日時】12月7日(火)午後1時30分～5時5分(午後1時開場)

【内容】トーク&コンサート「音楽と人権」子育て推進のボランティア活動を通じて(新藤昌子・ソプラノ歌手)、映画「阿弥陀堂だより」(2時間8分・日本語字幕付き)

【会場・申込み】当日直接、調布市グリーンホール(調布市小島町2-47-1)へ。先着千30名。

●講演と映画の集い
【日時】12月9日(木)午後1時30分～5時15分(午後1時開場)

【内容】講演「差別のない社会を目指して」橋はかかる(栗原美和子・テレビドラマプロデューサー)、映画「剣岳点の記」(2時間19分・日本語字幕付き)

【会場・申込み】当日直接、北とぴあ(北区王子1-11-1)へ。先着千300名。

……………(以下共通)……………

【費用】無料

【問合せ】東京都総務局人権部 ☎(5388)2588・☎(5388)1266へ。託児あり(要予約)。手話通訳・要約筆記があります。

子どもたちの人権メッセージ

※人権啓発パネル展で作品を展示します。

第17回子どもたちの人権メッセージ発表会

友だちは大切 高橋菜月さん(柏木小4年)

私は、道徳の時間に「何となく」というお話を読みました。このお話は、やよいさんという子が、主人公のみどりさんたちに仲間外れにされてしまうけど、みどりさんが考え直して、またやよいさんと友だちになりたいと思うお話です。

私は、やよいさんのようにされている人がいたら、かわいそうだなと思います。なぜなら、つい最近まで親友だった人に無視をされて、仲間外れにされたら、さびしくて悲しいと思うからです。それに、やよいさんはずっとたえていたから、つらくてこどくだったと思います。さらに、仲間外れにしている友だちの心配もしているので、やさしいと思いました。それなのに、どうしてきらわれるのかなと思いました。私がその人を仲間外れにしたいと思ってしまったら、その人のいいところを考えればいいのかと思いました。

でも、私はみどりさんの気持ちもわかります。急に親友だった人の悪いところがあつてきて、すごくいやになって、仲間外れにしたくなる気持ちは、私にもあります。その気持ちはしかたないと思います。そんな時わたしは、その友だちは自分のために何かしてくれていることを思い出すようにしています。それに、友だちをやめたらそれで終わりだけど、そこでやめなければ一生の友だちになれます。だから、わたしは友だちを大切にしたいと思います。

わたしは、みどりさんがやよいさんともう一度友だちになろうと思えたからよかったと思いました。私も、だれかを仲間外れにしたりしないで、みんなと仲良くできる人になりたいです。

小学生の人権メッセージ

●第17回子どもたちの人権メッセージ発表会

9月11日、23区と島しょの小学4～6年生30名が、学校・地域・家庭での人権にまつわる体験や、身近な人権問題への意見・希望を、メッセージにして発表しました。新宿区からは、高橋菜月さん(柏木小4年)が「友だちは大切」の題名で発表しました(右記)。

中学生の人権作文

●平成22年度全国中学生人権作文コンテスト

次代を担う中学生に人権尊重への理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的に、東京法務局・東京都人権擁護委員連合会の主催で実施しています。

区内の応募作品(9校・千53編)の中から、区代表4作品と参加校代表9作品が選ばれました。区代表作品は、東京都大会(278校・3万6千471編応募)で次の各賞を受賞しています。

区代表作品

★TOKYOMX賞

『落書き』(言葉の重さ) 末松良隆さん(牛込第三中3年)

『心のバリアフリー』を目指して 岩下峻也さん(牛込第一中2年)

『いじめ』 矢澤文藝さん(西戸山中1年)

『人の立場に立つことの難しさを知って』 和田卓巳さん(西戸山中1年)

『健康者がいる。障害者がいる。』 平田若菜さん(牛込第一中2年)、『新しい世界へ』 澤奈菜絵さん(牛込第二中1年)、

『その先にあるもの』 佐藤香菜子さん(牛込第三中3年)、『いざ行こう』 平佐多玲奈さん(四谷中3年)、

『僕がいいところ』 石井瑛斗さん(落合中1年)、

『過去の自分と向き合って』 中川ちひろさん(新宿中3年)、

『人々の笑顔の裏側』 森彩圭さん(西戸山中3年)、

『共生社会に見られる差別』 金哲洙さん(西戸山第二中3年)、

『外国人に参政権を与えるべきなのか?』 郭昇煥さん(東京韓国学校中等部3年)